

# リサーチ・クリップ

2009/6/12 No.3

リサーチ・クリップでは、最近関心の高まっている環境問題や、企業の従業員・地域社会といった様々な社会との関わりなどに関する記事や情報を紹介します。

ESG

## ピューセンター 気候変動政策に関するレポートを発表 (5月6日)

地球気候変動に関する提言を行っている非営利団体のピューセンター (The Pew Center on Global Climate Change) は、米国気候変動政策の製造業に対する影響をまとめた、「The Competitiveness Impacts of Climate Change Mitigation Policies」を発表した。米国の製造業は、現在外国からの安い輸入品の脅威に曝されている。その製造業において、米国がCO<sub>2</sub>削減に向けて排出枠を設定した場合、中国やインドといった新興の経済大国がCO<sub>2</sub>排出削減を行わなければ、CO<sub>2</sub>削減コスト負担のない国の企業の競争力が増すことになる。その結果、米国では雇用や生産が海外にシフトすることによる経済へ影響が懸念されている。しかし、同レポートによると、その影響はわずかであり、対処可能であるとした。1トン当たり15ドルのCO<sub>2</sub>排出権価格を前提とした分析では、影響の多くは、図表1に記載したパルプ・紙、鉄鋼、ガラスのようなエネルギー集約的な一部のセクターに集中する。また、製品価格の上昇による国内製造業の生産減少の大部分は、消費者の消費量の減少や、CO<sub>2</sub>排出集約的でない代用品への消費のシフトという形で吸収されるとしている。懸念されている製造業全体の雇用の減少は0.2%、競合による生産の減少(消費の輸入品へのシフトを含む)は0.7%と、わずかにとどまるとのことである。

図表1 2012年にCO<sub>2</sub>排出権価格15ドル/トンで製造業セクターに予想される影響

セクター	生産(%)	消費(%)	競合(%)	雇用(%)
工業用化学薬品	-2.7	-1.8	-0.9	-1.5
パルプ・紙	-3.3	-2.4	-0.9	-2.1
鉄鋼	-2.7	-1.9	-0.8	-1.6
アルミニウム	-2.0	-1.4	-0.7	-1.0
セメント	-1.6	-0.9	-0.7	-0.4
ガラス	-3.4	-2.7	-0.6	-2.3
製造業平均	-1.3	-0.6	-0.7	-0.2

\*注:(競合)=(生産)-(消費)

出所: 「The Competitiveness Impacts of Climate Change Mitigation Policies」を参考に NFI 作成

<http://www.pewclimate.org/international/CompetitivenessImpacts>

ESG

**FT社 米国のミューチュアルファンドが気候変動に関する株主行動を強化  
(6月4日)**

FT（フィナンシャル・タイムズ）社は、6月4日の記事において、米国ミューチュアルファンドの気候変動に関する株主行動等の状況をまとめている。現在の米国ではオバマ政権の下、グリーンニューディール政策等で知られる気候変動対策を推進しており、米国環境保護庁も大気汚染防止法にCO<sub>2</sub>規制を盛り込む動きが見られるなど、ブッシュ政権の終焉とともに、急速に変化が起きている。

主要な61のミューチュアルファンドの議決権行使等の状況を見ると、2008年は気候変動対策に関連した株主行動が全体の23.6%にのぼり、前年の13.6%という状況から大きく伸びている。また、これらはSRIファンド等の社会的責任を求める投資資金は含まれていない。

同記事によれば、議決権行使のアドバイスを行う会社として、最も有力な企業のひとつとされるRisk Metrics社では、特に2008年と2009年は顧客である投資家に対し、気候変動に関する株主行動等の助言が多くなっているという。また、ミューチュアルファンドであるWells Fargo Advantage Fundsは、こうした投資家の要請を受けて、社会・環境に関する企業のアクションと議決権行使等の株主行動に関するガイドラインをアップデートするなどの対応をとっている。

現在、日本でも環境関連ファンドが増えてきているが、環境対策を求めるような株主行動や投資家に対するアドバイスを行うといった動きは見られない。しかし米国では、従来はSRI的な意味合いの投資に限定されていたものが、急速に投資のメインストリームとなりつつある。上記のような政府主導の下に、環境関連の投資に盛り上がりが見られている。

<http://www.ft.com/cms/s/0/710fb3d4-4dc9-11de-a0a1-00144feabdc0,s01=1.html>

（社会システム研究所 CSR 調査室 佐藤 拓人  
曾我 昂平）